

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	これからの時代を心豊かにたくましく生きていく力を育むため、主体的に学ぶ意欲を高め、資質・能力を育成する教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。	(1) 主体的・対話的かつ教科横断的な学びの視点を踏まえた授業改善の教員研修会の実施と内容の充実を図る。 (2) 外部機関を活用し連携を継続しながら各講座の質の維持をはかる。 (3) ICTの効果的な活用について、組織的に取り組み、全職員のスキルのボトムアップをはかる。	(1) 全教員が、単元に1回は「主体的・対話的かつ教科横断的な学び」の視点を踏まえた授業に取り組む。 (2) 「アントレ」の研究集録を作成し内容の継承と拡大をはかる。各講座の質の維持をはかり、成果の検証を行う。 (3) 全職員対象のICTの研修会を開催し、職員のスキルのボトムアップをはかる。	(1) 生徒による授業評価の項目2における「4かなり当てはまる」の回答率3割以上となったか。 (2) 「アントレ」の研修集録を作成できたか。「add-on 講座」「ステップアップ」等の外部機関や講習補習のアンケートで「成果があった」との回答が6割以上であったか。 (3) ICTの効果的な研修会ができたか。それが職員のスキルのボトムアップにつながったか。					
2 生徒指導・支援	部活動や行事、日常的な生徒指導を通して、社会規範を身に付け責任感や連帯感を高め、自己実現に向けて努力する姿勢と命を大切にすることを育む。	(1) 社会情勢に柔軟に対応しながら組織的で細やかな教育相談体制と生徒指導体制を構築することで円滑で充実した指導支援を行う。 (2) 厳しい社会情勢の中でも生徒たちの活躍の場を少しでも多く確保する。行事、部活動等の制約の多い中でも充実した活動をおこなえるよう支援する。	(1) ①こまめな情報発信と収集により教育相談窓口を活性化し、迅速かつ適切な対応とれる組織を構築する。 ②ITモラルに係る指導を充実させる。 ③交通安全に係る定期的な指導を行う。 (2) ①行事の精選と実施の際の安全性確保を心掛ける。 ②部活動において生徒が充実感を味わえるよう適切な指導、支援を心掛ける。	(1) ①マニュアルに沿って組織的に支援できたか。 ②SNSトラブルが減少したか。 ③交通事故や近隣からの苦情が減少したか。 (2) ①行事におけるアンケート調査で満足度は高かったか。 ②部活動におけるアンケート調査で満足度は高かったか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	生徒一人ひとりの進路希望実現に向け、自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。	(1)社会状況の変化に対応した進路希望実現のためのサポートを充実させる。 (2)生徒個々の主体的なキャリア意識の形成をサポートする。 (3)3年間を見通した進路支援を、生徒・保護者に対して行い、高校生活の充実を図る。 外部人材を活用する機会を増やし、多角的で確実なキャリア支援を行う。	(1)様々なデータ検証により社会状況の変化に対応する緻密な情報収集と活用を行う。 (2)①総合的な探究の時間を活用し進路に係るスキルアップを図る。 ②“社会人に学ぶ”や“SDGs”の学びにより、生徒個々のキャリア意識を高める。 (3)生徒・保護者向け説明会や外部機関を積極的に利用し新入試への具体的な対策や学習意欲の喚起を促す。	(1)進路希望調査を年2回実施し生徒のキャリア意識を向上させることができたか。 (2)①探究活動を通して進路に係る基本スキルの習得ができたか。 ②探究活動の成果のデジタルデータ化とポートフォリオ化が進路の準備に役立ったか。 (3)説明会を2回以上行い円滑な進路活動につながられたか。外部模試を年3回以上実施し学力向上を図れたか。					
4 地域等との協働	地域に開かれた学校としての取組みをさらに進め、保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との連携を促進し、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。	(1)地域と連携や協働する機会を増やし生徒の自己肯定感と主体性を高める。 (2)地域貢献に対する生徒の意識を高め推進を図る。	(1)ボランティア委員会等を有効的に活用し地域や外部機関との交流を図る。 (2)社会貢献に向けての情報や機会の提供と取組みを支援する。	(1)地域や外部機関と連携・協働する機会が増え生徒の自己肯定感や主体性を高めることにつながられたか。 (2)地域と繋がることで、学校への信頼と協力が得られたか。					
5 学校管理 学校運営	保護者や周辺地域による、本校の教育活動に対する理解を深化させるとともに、安全・安心・快適な学習環境を整備し、保護者や県民から信頼される学校づくりを確立する。	(1)組織的な防災意識の向上と防災体制の整備を推進する。 (2)①本校の教育活動や活動実績、魅力を、丁寧にわかりやすく説明する。 ②確かで安定した情報提供を行う。 (3)社会の状況やニーズに迅速に対応し、面倒見が良く、かつ安心安全な学習環境の整備を推進する。	(1)実際の災害を想定し防災意識の向上と防災体制を充実させる。 (2)①学校説明会等の運営が、基本的データをもとに説得力のある内容にする。 ②学校HPやツイッターに本校の情報を詳しくかつ丁寧に掲載する。 (3)教育環境変化や課題等を保護者・地域と情報共有し環境整備を進める。	(1)日常の中で常に防災意識があり定着しているか。 (2)①学校説明会で具体例を挙げて参加者が本校の魅力を感じる事ができたか。 ②学校HPやツイッターの更新を2週間に1回以上行い広報を充実させることができたか。 (3)職員間で課題を共有し安心できる学習環境を確保できたか。					